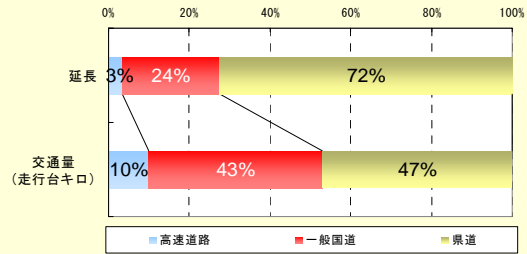


茨城県の概況と課題

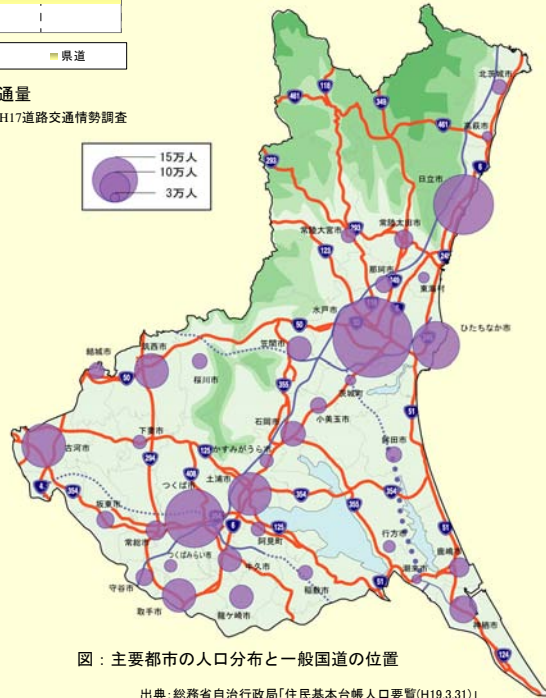
1

広い可住地に点在する都市を結ぶ幹線道に交通が集中

- 茨城県の人口は約300万人で全国11位です(H19)。総面積は約6千km²で全国24位ながら、平坦部が多く可住地面積は約4千km²で、北海道、新潟県、福島県に次ぐ4位を誇ります。
- このような広い県土に主要都市が点在し、これらを最短経路で接続する一般国道などの幹線道路に交通が集中しやすくなっていることから、延長24%に過ぎない一般国道が、自動車交通全体の43%を受け持っています。
- このように自動車交通が集中している一般国道などの幹線道路における円滑な交通を実現することが急務です。



図：道路種類別延長と交通量
出典：H17道路交通情勢調査



図：主要都市の人口分布と一般国道の位置

出典：総務省自治行政局「住民基本台帳人口要覧(H19.3.31)」

2

長い道路延長と低い改良率、高い自動車保有台数

- 茨城県の道路延長は、北海道に次ぐ全国2位です。一方、幅員5.5m以上の道路の比率である改良率は全国最下位となっています。
- 茨城県の人口あたり乗用車保有台数は全国第4位で、自動車は生活に欠かせない移動手段となっています。

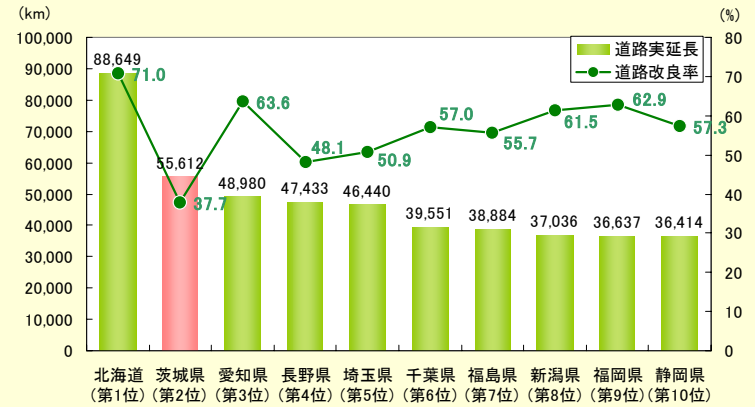


図 道路実延長トップ10と改良率(H17)
※改良率：幅員5.5m以上の道路
出典：道路統計年報2006

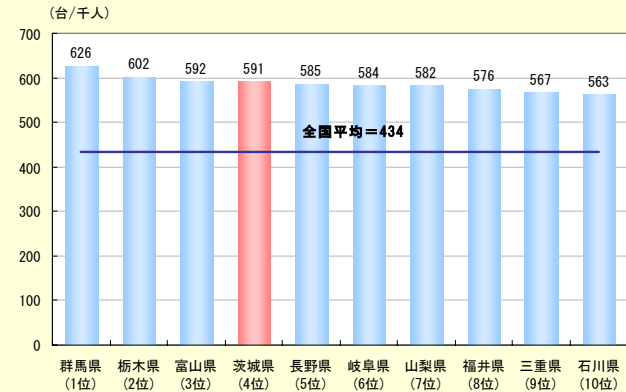


図 人口千人あたり自動車保有台数

出典：自動車保有車両数月報(H19.6)

茨城県の概況と課題

3

人口あたり交通事故死者数は全国ワースト5位

- 茨城県の交通事故死者数、死傷事故件数は、ともに近年減少傾向にあります。
- しかし、人口あたり交通事故死者数では全国5位です。交通事故対策の推進に加え、運転マナーの向上や規則遵守の徹底が重要です。

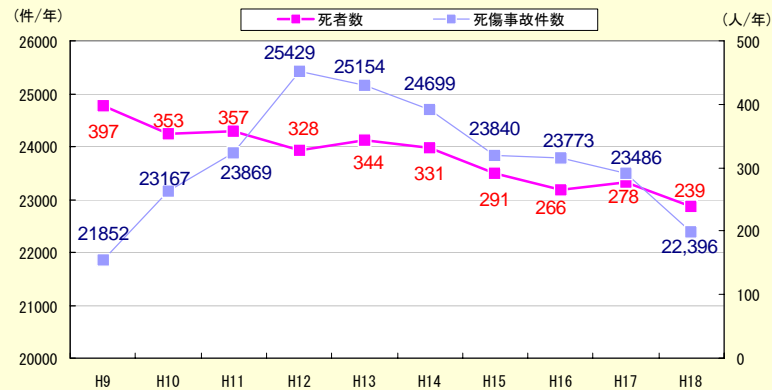


図 茨城県の交通事故死者数と死傷事故件数推移

出典：交通事故統計年報

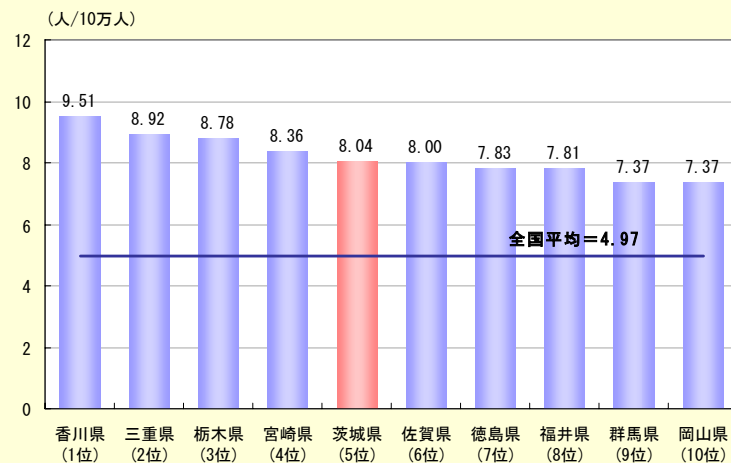


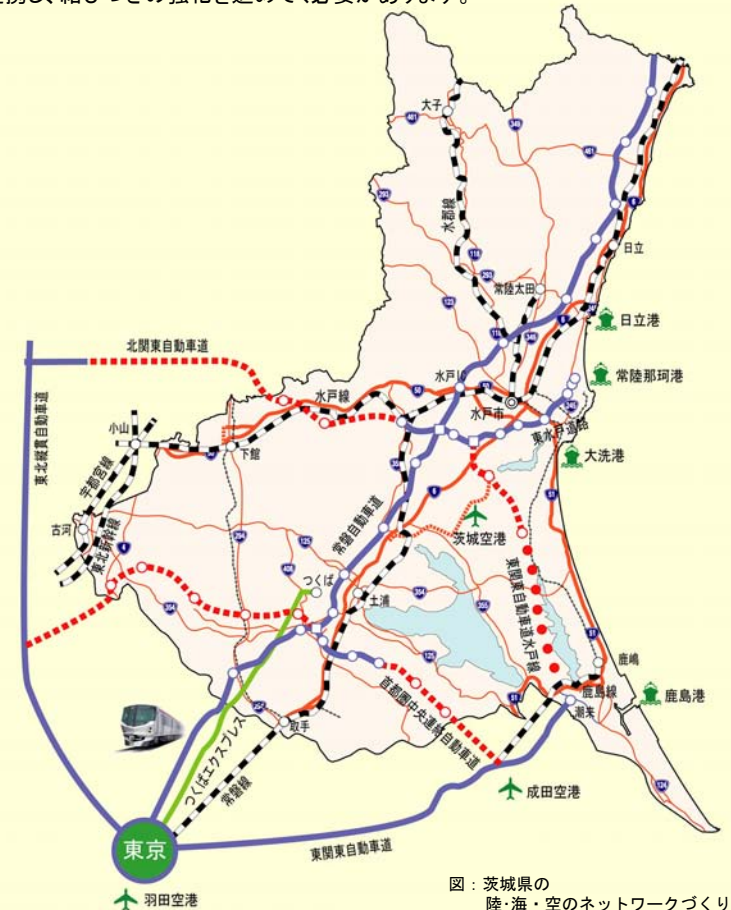
図 人口10万人あたり交通事故死者数 (H18)

出典：死者数 H18警察庁HP、人口総務庁統計局資料「H18.10.1現在推計人口」

4

陸・海・空のネットワークづくり

- 茨城県は幹線道路に交通が集中する県土構造と高い自動車交通需要に対応しつつ、重要港湾や空港、鉄道との円滑な連携も考慮した「陸・海・空のネットワークづくり」を進めています。
- 重要港湾は4港あり、中でも常陸那珂港(H11供用開始)は、首都圏の物流の合理的再編と発展に大きく寄与するものと期待されています。
- 空港は、北関東の空の玄関として茨城空港の開港を控えています。
- これらを、北関東自動車道や圏央道などの規格の高い道路や幹線道路の整備により連携し、結びつきの強化を進めていく必要があります。



図：茨城県の陸・海・空のネットワークづくり